

2021年12月10日

各位

会社名 株式会社 g u m i
代表者名 代表取締役社長 川 本 寛 之
(コード番号: 3903 東証市場第一部)
問合せ先 取 締 役 本 吉 誠
(TEL. 03-5358-5322)

営業外費用の減少、並びに営業外費用、特別損失及び法人税等調整額（益）の計上に関するお知らせ

当社は、2022年4月期において、営業外費用（暗号資産評価損）の減少、並びに営業外費用（持分法による投資損失）、特別損失（減損損失）及び法人税等調整額（益）を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外費用（暗号資産評価損）の減少について（連結）

2022年4月期第1四半期連結会計期間（2021年5月1日～2021年7月31日）にて、暗号資産評価損672百万円を計上しておりましたが、当社の連結子会社である株式会社gumi Cryptosにて保有する暗号資産に関し時価評価を行った結果、2022年4月期第2四半期連結会計期間（2021年8月1日～2021年10月31日）にて、暗号資産評価損331百万円が減少いたします。その結果、2022年4月期第2四半期連結累計期間（2021年5月1日～2021年10月31日）における暗号資産評価損は、341百万円となります。

2. 営業外費用（持分法による投資損失）の計上について（連結）

2022年4月期第1四半期連結会計期間にて、持分法による投資損失587百万円を計上しておりましたが、当社の持分法適用会社であるVR FUND, L.P.が保有する投資先の時価下落等により、2022年4月期第2四半期連結会計期間にて、持分法による投資損失351百万円を営業外費用として計上いたします。その結果、2022年4月期第2四半期連結累計期間における持分法による投資損失は、938百万円となります。

3. 特別損失（減損損失）の計上について（連結、個別）

運用中の一部タイトルに関し、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づいて回収可能性を再検討し、保守的に将来の収益見込み等を勘案した結果、帳簿価額を減損処理することといたしました。その結果、2022年4月期第2四半期連結会計期間にて、減損損失として連結、個別でそれぞれ1,906百万円の特別損失を計上いたします。

4. 法人税等調整額（益）の計上について（連結）

2022年4月期第1四半期連結会計期間にて、法人税等調整額（益）363百万円を計上しておりましたが、連結上において、計上していた繰延税金負債の一部取り崩しを行ったこと等により、2022年4月期第2四半期連結会計期間にて、法人税等調整額（益）として192百万円を計上いたします。その結果、2022年4月期第2四半期連結累計期間における法人税等調整額（益）は、555百万円となります。



5. 業績への影響について

上記の営業外費用の計上に伴う業績への影響につきましては、本日公表いたしました「2022年4月期第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載のとおりです。

以 上